

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	重度化した場合、医療面については、協力医療機関となる茅原クリニックと連携し、症状により、医師との病状説明の機会を設定し、その後の対応について、方針を検討する支援を行っているが、今後「看取り」を含めた対応が求められることが予測される。	廃用症候群、嚥下障害(認知症の進行に伴う食事動作の欠落)等について定期的に勉強会を開くとともに、ご家族、ケアマネ、計画作成担当者、連携医療機関と連携し、ご家族の意向に沿った、ご利用者個々の対応マニュアルを確立していく。	※定期的カンファレンスでの重度化した場合の対応について常に確認していく。 ※ご家族への身体状況変化等については、今以上に、連携を密にし、早めに医療連携を図られるよう調整する。 ※看取りに対する定期的な学習会を開催する。	12ヶ月
2	34	急変時には特に、経験の浅い職員が多いことから、夜勤帯での体調急変、事故発生時の対応については、的確な対応ができない恐れがある。	心肺蘇生訓練、AED操作訓練、緊急連絡体制の確認等定期的な消防訓練・内部研修会を通じた確な救急対応が取れるよう身に付けていく。	年2回行なわれる消防職員指導の下での救急訓練のほか、医療連携体制の医療機関スタッフとの実践的な連携訓練や外部研修への積極的な参加等を継続していくことにより職員の資質向上を図っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。